

## 平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	患者輸送事業				事業コード	1849
担当課等	所属名	玉山総合事務所 健康福祉課			担当係名	
	課長名	高橋 洋	担当者名	本山嘉克	電話番号	4400-131

## 1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	健やかに暮らせる健康づくりの推進	コード 1
	基本事業	保健・予防の推進	コード 2	関連予算 費目名	一般会計 4款 1項 2目 患者輸送事業(004-01)	
	特記事項					
事業期間	○ 単年度                      ● 単年度繰返                      ○ 期間限定複数年度					⇒(開始年度 S46年度～)
事務事業の概要	山間部等の無医地区(医療機関のない地区や公共交通機関がない地区)の住民に対し、患者輸送バスを運行し医療受診の機会を提供する。					
根拠法令等	へき地患者輸送車運行実施要領					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
無医地区の住民に対し、受診の機会を提供するため昭和46年度から実施した。現在は公共交通機関の運行廃止地域にも拡大して運行している。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
平成20年12月議会において、運行回数の増や日常の買い物等にも利用できるように福祉バスの運行の要望が出されている。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
運行対象地区の人口減少に伴い、利用者数も減少傾向にある。また、福祉バスの運行については、玉山区だけでなく市全体として、今後の生活交通対策として検討する必要がある。						

## 2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	無医地区等に住所を有する住民で医療機関を受診しようとする住民	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 無医地区住民人数	単位	人
				B. 医療や公共交通機関に恵まれない地域住民	単位	人
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 患者輸送バス3台で、12地区を運行している。毎週月、火、木、金曜日に運行している。各コースとも10箇所程度の停留所を指定。バスを利用するときは医療機関の診察券を運転手に提示する。  23年度計画(23年度に計画している主な活動)  平成22年度に引き続き、祝祭日で運休となるコースについて、その週の水曜日に振替運行を行う。ただし、水曜日が休日の場合は振替を行わない。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 患者輸送バスの運行回数	単位	回
				B.	単位	
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	無医地区の住民に対し、患者輸送バスを運行し医療機関への受診・通院機会を提供することにより、病気の早期発見・早期治療に結びつけ健康な状態にする。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 患者輸送バスの運行回数 【指標の性格:○ 上げる    ○ 下げる    ● 維持する】	単位	回
				B. 【指標の性格:○ 上げる    ○ 下げる    ○ 維持する】	単位	
				C. 【指標の性格:○ 上げる    ○ 下げる    ○ 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するか)	病気にならないようにする	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	全結核罹患率(単位:%) 乳幼児予防接種の接種者の割合(単位:%) 高齢者予防接種の接種割合(単位:%)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	無医地区住民人数	人	2,074	1,991	1,916	1,924	1,871	1,818	年度
対象 指標B	医療や公共交通機関に恵まれない地域住民	人	6,423	6,325	6,248	6,259	6,163	6,067	年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	患者輸送バスの運行回数	回	573	594	588	606	600	600	年度
活動 指標B									年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	患者輸送バスの運行回数	回	573	594	588	606	600	600	年度
成果 指標B									年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	12,746	19,196	12,366	11,582	11,592	11,592	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	12,746	11,632	12,366	11,582	11,592	11,592	*****
	⑧その他	千円		7,564					*****
	合 計 (④～⑧) (=A)	千円	12,746	19,196	12,366	11,582	11,592	11,592	*****
延べ業務時間数		時間	191	190	190	480	480	480	*****
職員人件費 (B) (臨時職員賃金は、事務費に含む)		千円	764	760	760	1,920	1,920	1,920	*****
トータルコスト (A) + (B)		千円	13,510	19,956	13,126	13,502	13,512	13,512	*****



### 3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 結びついている	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない <input checked="" type="radio"/> 影響がある	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある <input checked="" type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある <input checked="" type="radio"/> 削減できない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ
公平性評価	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	⇒ 4. 事務事業の改革案へ

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること バス事業について、市全体での活用を検討する段階にある。
	②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 利用者の意向把握、全庁的な調整など

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性           ● 妥当           ○ 見直し余地あり ② 有効性           ● 妥当           ○ 見直し余地あり ③ 効率性           ● 妥当           ○ 見直し余地あり ④ 公平性           ● 妥当           ○ 見直し余地あり	 (2)全体総括(振り返り、反省点) 玉山区山間部等は公共交通の少ない無医地区であることから、患者輸送バスを運行し、住民の健康保持を図っている。今後も当該事業を維持し、区民の健康保持及び疾病の早期発見・早期治療に結びつけていく必要がある。
	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <div><div><input type="checkbox"/> 終了   <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止   <input type="checkbox"/> 休止</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携</div></div> <div></div> <div>方向付けの理由と改革改善の内容 利用者の需要に応じた運行経路については、適宜見直しをしていく。</div>	